■令和７年 12 月 22 日号（第 1960 号）

・ＳＣＯＰＥ　インタビュー・松原理事長就任＝組織を次の世代に継承、発展へ

・航空局　空港業務ＤＸ推進官民連絡会＝生産性向上、最新技術動向

・港湾局　水素等受入ガイドライン＝パブコメ前の最終議論

・四日市港　霞ヶ浦北ふ頭W81 岸壁＝先行供用部の上部工を予定

・北陸地整　伏木富山港・金沢港を再評価＝航路水深確保と用地整備など

・北開局　事業審議委員会を開催＝苫小牧港、石狩湾新港、沓形港

・東京湾　中央航路の整備効果検討＝中ノ瀬西方など事業計画も

・鹿島港　外港地区中央防波堤築造＝消波ブロック製作の続き工事

・北開局　水産基盤整備の事業審議＝道内２漁港で再評価を実施

・山形県　令和８年度当初予算概要＝酒田港埋立護岸など 81 億円

・中国地整　浜田港、福山港、水島港＝事業評価監視委が継続了承

・四国地整　高知港海岸保全施設事業＝工法見直しで事業費増

・橘港「命のみなとネットワーク」　小松島港湾・空港整備事務所＝阿南市で緊急物資輸送訓練

・八幡浜港　クルーズ船初寄港＝三井オーシャンフジ、市民が歓迎、交流

・工事入札結果（令和７年 10 月契約分）

・国総研　令和７年度講演会を開催＝「国土強靭化を支える研究最前線」

・海上ＧＰＳ機構　７年度測位技術講習会開催＝大阪港航路浚渫現場見学等

・青森県東方沖地震　八戸港で被害発生も軽微＝ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥが調査

・ＥＮＥＯＳ・道総研　大規模ブルーカーボン創出＝北海道周辺海域で海藻養殖試験

・海事局　自動運航旅客フェリー＝国内初の安全検査合格

・あおみ建設　令和７年度技術報告会＝現場の技術を水平展開

・業務入札結果（令和７年 10 月契約分）

■令和７年 12 月 15 日号（第 1959 号）

・国交省　建設コンサルに業務スライド＝労務単価の急上昇に対応

・洋上風力　新公募制度に４団体が意見＝埋浚協会「適正な工事発注義務付けを」

・港湾局　港湾運送事業の適正取引＝第３回検討委、ガイドライン案示し議論

・港湾局　水素燃料による荷役機械＝導入促進に向け議論深める

・港湾談話室　秋の叙勲・褒章受章者＝お祝いの会開催し祝福

・大阪・関西万博　福西運営局長が講演＝課題乗り越え成功裏に閉幕

・船川港　本港地区水深 10m岸壁＝来年度着工に向け現地調査

・仙台塩釜港　第２回長期構想委を開催＝港湾計画改訂へ骨子案を議論

・新海面処分場　Ｄブロックの西側護岸整備＝遮水・裏埋工で上層部施工開始

・羽田空港　アクセス鉄道等修正設計＝開削部と駅舎改築部で実施

・小松空港　エプロン改良工事発注へ＝排水施設改良も同時施工
・穴水港　川島地区水深４ｍ物揚場＝災害復旧の改良工事を発注
・田子の浦港　国交省と静岡県が覚書締結＝災害対応で合同チーム構築
・清水港　静岡県補正で５億円計上＝アクセス道路など用地整備
・広島港宇品地区　先行区画でＳＣＰ地盤改良＝来年度から桟橋築造工予定
・広島空港　ＲＥＳＡ用地造成工進展＝来年度に滑走路等舗装工事
・高松空港　八谷池埋立で用地造成工＝ＲＥＳＡ確保への取組進む
・高知空港　東側にＲＥＳＡ用地確保＝今年度実施設計調査中
・那覇港総合物流センターⅡ期　管理組合が実施方針再公表＝事業スケジュールを見直し
・三島川之江港　港湾脱炭素化推進計画＝太陽光やリサイクル発電など
・徳島県　橘港脱炭素化推進計画＝照明ＬＥＤ化、荷役機械ＦＣ化等
・広島技調　７年度「実りある学舎」＝浚渫土砂活用し炭素貯留
・港湾局　スマートターミナル技術フォーラム＝「物流を未来へ、港湾技術の挑戦」
・第 19 回ＯＣＤＩ講演会＝気候変動や大洋州港湾など
・京都舞鶴港　大野辺緑地を再整備へ＝みなと緑地ＰＰＰ、プレサウンディング実施
・港空研・港振会　官民技術交流会を開催＝構造研究領域の計画・展望等
・不動テトラ・日本製鉄　「ジオチェンジャ」開発＝砂杭専用地盤改良材
・農林水産省　令和７年度補正予算＝漁港強靭化に 290 億円
・海事局　シップ・リサイクル＝解体第１号を承認

■令和７年 12 月８日号（第 1958 号）
・７年度港湾関係補正　国費 1210 億円計上＝地域産業支援、災害復旧等
・埋浚協会　安部港湾局長に要望活動＝「現場実態に即した発注を」
・日・中・韓　北東アジア港湾シンポジウム＝開港 400 年の青森市で開催
・港湾局　i-Con・インフラＤＸ＝第３回推進委員会、ＩＣＴ施工の普及拡大
・国土強靭化補正＝国交省１兆４千億円
・港湾統計速報＝令和７年９月分
・名古屋港　新土砂処分場で環境調査＝周辺海域で機器の保守点検も
・川崎港　扇島地区の基盤整備推進＝意見募集、「先導エリア」の方向性等
・四日市港海岸　石原地区Ⅲ工区の既設護岸＝構造検討業務で改良基本設計
・小樽港　３号ふ頭の基部緑地＝みなと緑地ＰＰＰ、事業者選定
・千葉港　千葉中央地区の防波堤築造＝航路浚渫等施工方法を検討
・山中横浜市長　国の予算・制度への提案＝小泉防衛相に要望書を手交
・東京都　令和７年度補正予算案＝港湾局関連で１億円強
・東北地整　港湾空港技術特別講演会＝東北地方で５年ぶり開催
・境港　水深 12ｍ国際物流ターミナル＝準備工としての築造工事開始

・舞鶴港　和田地区第２Ｂ整備促進＝臨港道路上安久線も進捗
・坂出港　備讃瀬戸航路附帯施設＝来年度に護岸等基本設計へ
・福山港　箕島岸壁で土質調査実施＝今後の施工法等に反映
・熊本空港　今年度で排水改良完了＝豪雨への空港機能向上
・苅田港湾事務所　「アートイベント」開催＝中学生がケーソンに絵描く
・九州地整局　八代海で漂流物回収＝「海煌」と漁船が連携
・志布志港みなとセミナー　市制 20 周年、１月 14 日・15 日開催
・第 29 回海岸シンポジウム開催＝気候変動を踏まえた海岸保全対策
・港空研　ＦＬＯＷＲＡと意見交換＝浮体式洋上風力で技術連携
・港コン協　関東地整と意見交換会＝頼れるパートナー要望
・港コン協　東京航空局に要望書手交＝空港部長らと意見交換
・海事局　造船能力向上に取組み＝新垣局長 11 月記者懇談会
・ＩＣＡＯ　大沼氏が理事会議長に＝航空分野で世界をリード
・洋上風力　秋田２海域法定協議会＝意見取りまとめを改訂
・経産・国交省　再公募３海域の情報提供＝気象・海象・海底調査結果
・ＮＥＤＯ　洋上風力マップを改定へ＝浮体式、ＥＥＺ展開対応

■令和 7 年 12 月 1 日号（第 1957 号）
・洋上風力　新たな公募制度案示す＝事業実現性を重視、撤退抑制
・埋浚協会　沖総局と意見交換会開催＝「積算基準改定への第一歩に」
・海調協　国会議員に要請活動実施＝会員企業の経営基盤安定等
・海洋調査協会　髙月副会長が藍綬受章
・名古屋・三河港　特定利用港湾に指定へ＝管組、県が枠組み確認
・港湾局　志布志港でサイバーポート導入＝事業者と推進会議立上げ
・木更津港　第２回港湾計画策定委員会＝南部・富津地区に新規岸壁
・清水港湾事務所　新興津岸壁本体工事を公開＝ＨＢケーソン２函製作現場
・川崎港　東扇島水江町線整備効果＝事業再評価に向け検討開始
・横浜市　８年度港湾予算要望＝横浜港の競争力強化など
・名古屋港　長期構想でパブコメ募集＝７年度中の策定目指す
・小樽港　本港地区の北副防波堤＝老朽化対策で改良初弾工事
・仙台塩釜港　向陽地区水深 14m岸壁＝背後の空洞化調査実施
・八戸港　八太郎地区の防波堤（北）＝基部の現況調査を実施
・名古屋港管理組合＝インスタキャンペーン
・大阪港　航路附帯の新島護岸を嵩上げ＝緩傾斜部分への捨石投入等
・徳島小松島港　赤石地区国際物流Ｔの整備＝港湾議連総会で中山市長が要望
・和歌山下津港　撤去ケーソン利活用検討＝西浜推進 10m岸壁や中仕切

・博多港　中央航路水深 12m浚渫工＝２次、３次を一括審査方式
・業務入札結果（令和７年９月契約分）
・沿岸センター　コースタル・テクノ開催＝防災研設立 20 周年記念講演
・埋浚協会　那覇港で会長安全パト＝若狭港町線Ｐ20・24 下部工現場
・東京都　オフピーク搬出入モデル＝事業者連携で物流改革目指す
・茨城県　いばらきの港説明会開催＝県と利用企業が魅力を発信
・五洋建設　26 年３月期中間決算＝大幅増収増益、過去最高
・東亜建設工業　26 年３月期中間決算＝受注・利益が過去最高更新
・洋上風力　山形県遊佐町沖協議会＝洋上工事は 28 年４月から

■令和７年 11 月 24 日号（第 1956 号）
・港湾局　浮体式洋上風力の大量導入＝港湾あり方検討会、施設規模等の検討開始
・港空研　ＦＬＯＷＣＯＮと意見交換＝浮体式洋上風力実現へ連携強化
・濱口梧陵国際賞授賞式開催＝三村茨城大教授、ティンティ博士の津波防災の功績称える
・港コン協　港湾局長、航空局長に要望＝働き方改革、担い手確保等
・ＪＷＰＡ　更なる技術開発でコスト減＝早期に公募日程等明示を
・国総研　既存港湾施設の維持管理＝３次元モデル作成手法開発
・横浜港新本牧　Ⅱ期２工区で土砂早期受入れ＝護岸（東）の構造を再検討
・室蘭港利用促進懇談会開催　市・商工課・港湾振興会＝洋上風力拠点化へ積極取組
・関東地整ら　港湾空港技術講演会開催＝ＡＩ・先端技術テーマに講演
・横須賀港　浦郷地区の護岸復旧工＝被災部と船揚場で施工
・八戸港　東北で初のＣＮＰ認証＝認証書交付式を開催
・苫小牧港　浜厚真 14m岸壁の用途変更＝地港審開催、アンモニア船受入対応
・セントレア中間決算　前年同期比増収増益確保＝通期は弱含みで下方修正
・青森港　油川地区で事後工損調査＝近隣冷凍倉庫の不具合検証
・熊本港　夢咲島の７・５ｍ耐震岸壁＝ＣＤＭ地盤改良の手続きへ
・長崎港　松が枝クルーズ第２バース＝岸壁ケーソン製作を開始
・長崎空港ＲＥＳＡ　第１期外周護岸築造進む＝９年度以降は２期区間も予定
・姫路港　タイ材や裏込工事を予定＝水深 14m国際物流Ｔ第２Ｂ
・大阪港夢洲ＣＴがＣＮＰ認証　Ｃ10、11、12、レベル２＋＋＝近畿地整局管内で２件目
・北九州港　港湾計画を軽易変更＝戸畑に脱炭素専用ドルフィン
・鳥取空港　第２期コンセッション＝Ｊｐｉｘ・ＯＣが優先交渉権
・浜田港　防波堤（新北）築造工事＝東堤延伸、ケーソン据付
・神戸港　ＰＩ２期地区で舗装工事＝沈下対策でエプロン嵩上げ
・リサイクルＰ推進協　７年度セミナーを開催＝循環資源でブルーインフラ
・関東地整　首都直下地震防災訓練＝さいたま・東扇島の２会場で実施

・ＭＥＭＰＨＩＳ会　金沢で第 29 回講演会開催＝海洋・港湾分野の維持管理
・埋浚協会関東支部　港湾工事安全衛生研修会＝事故防止に向け取組強化
・東洋建設　桟橋上部工の施工省力化＝「ＴＭ－ＬＯＯＰ工法」を開発
・住商・東電ＲＰ　西海市江島沖洋上風力＝環境影響評価準備書縦覧
・三菱長崎機工　長崎市内に新工場建設へ＝浮体式部材等生産体制拡充

■令和 7 年 11 月 17 日号（第 1955 号）
・第 98 回港湾分科会開催＝志布志港改訂、洋上風力報告
・自民党港湾議連　港湾整備・振興を緊急要望＝補正、８年度予算大幅確保
・自民党港湾議連　財務省主計局長に緊急要望＝森山会長ら 27 名が駆け付け
・高市内閣　新成長戦略で港湾機能強化＝南鳥島ではレアアース実証
・港コン協　国会議員へ要望活動実施＝安定した業務量の確保等
・航空局　航空の費用対効果分析＝マニュアル改正へ議論開始
・港湾局　ＣＮＰ認証第２弾＝大阪港夢洲、八戸港
・羽田空港　ターミナルの利便性向上＝接続部人工地盤基本設計発注へ
・川崎港　扇島地区水深 14m岸壁＝補修に向けて技術検討業務
・名古屋港　新土砂処分場護岸が進捗＝汚濁防止膜と灯標の設置工事
・東北防災港湾協議会　四国港湾協議会に手交＝耐震強化岸壁の必要性を提言
・金沢港・空事務所　工事安全大会を開催＝埋浚協会北陸支部らと共催
・東京都港湾局　オフピーク搬出入促進＝物流改革モデル事業開始
・東京都港湾局　令和８年度予算要求＝一般会計は前年比 38％減
・関東地整　ＣＯＮＰＡＳ試験運用＝横浜港本牧で 27 日まで
・志布志港　港湾計画改訂を分科会了承＝新若浜にＲＯＲＯターミナル
・近畿地整・堺市　南海トラフ想定防災訓練＝堺泉北港堺２区、51 機関が参加
・北九州港新門司沖土砂処分場Ⅱ期＝前期区画の護岸整備が進捗
・沖縄県　港湾物流グランドデザイン＝検討委員会初会合開催、８年度早期に策定へ
・福岡市　香椎パークポート＝事業用地を分譲公募
・工事入札結果（令和７年９月契約分）
・ＲＳＯ　港湾空間の未来デザイン＝「環境と建築」妹島氏が講演
・沿岸センター　７年度上期民間技術評価＝新規２件、継続２件に評価証交付
・港コン協　７年度要望活動を展開へ＝港湾局、航空局を皮切に開始
・底浄協　第 51 回技術セミナー開催＝港湾の海洋・環境施策など
・東京都　水素の社会実装促進＝技術開発２件を採択
・ＮＥＤＯ　ブルーエコノミー技術＝懸賞金活用型公募開始
・東洋建設　「水環境企業」に認証＝河川・海岸清掃活動等
・福島復興マルシェ＝東洋建設が開催

・寒地センターら　ザ・シンポジウムみなと in 十勝＝11 月 27 日開催

■令和 7 年 11 月 10 日号（第 1954 号）
・港湾の国際標準化へ議論＝ＩＳＯ／ＴＣ８の新委員会が発足＝「ＳＣ27」第１回総会
・国土交通省　佐々木副大臣、永井政務官＝職員に向けて就任の挨拶
・金子国土交通大臣　米国商務省と覚書＝造船分野での協力を促進
・海事局　米国との造船協力で意欲＝新垣局長、10 月記者懇談会
・高知港海岸　地震津波対策技術検討会＝浦戸・御畳瀬・長浜工区を審議
・濱口梧陵国際賞　三村茨城大名誉教授と伊・ティンティ博士
・航空局　空港ＤＸ官民連絡会＝12 月 11 日開催、参加企業を募集
・沿岸Ｃ　コースタルテクノ開催＝11 月 19 日、森教授が特別講演
・港湾統計速報＝令和７年８月分
・羽田空港　アクセス鉄道引上線トンネル＝円形断面に変更で近接影響調査
・東京港新海面　浚渫土砂仮置・埋立工＝汚濁防止枠付送泥船
・関東地整　工事事故防止強化月間＝11 月に重点的な取組実施
・小樽港　北・南・島の３防波堤＝国の重要文化財に指定
・神湊漁港　水深４・５ｍ岸壁に改良＝泊地や海岸護岸設計も
・東京空港整備事務所　羽田で生物生息場創出＝東京湾シンポジウムで受賞
・新潟港　東港の洋上風力基地港＝係船柱と陽極設置工
・羽伏漁港　水深７・５ｍ泊地整備＝東京都、水産基盤整備
・横浜市　山下ふ頭再開発＝サウンディング調査
・東京港　７年上半期港勢速報＝コンテナ６・５％増
・神戸技調　臨港道路和田岬側の検討開始＝Ｐ１・２基礎の構造形式比較
・神戸港臨港道路　橋脚基礎工で実施設計＝盤ぶくれ対策や仮設工検討等
・九州地整　博多、長崎、大分、下関港＝事業評価監視委員会、原案どおり事業継続
・中国地整　徳山下松港国際物流Ｔ＝事業評価監視委で継続承認
・福山港　箕島地区水深 12m岸壁＝暫定供用に向け仕上げ工程
・宮崎県　油津港水深 12m岸壁延伸＝宮崎港東地区で新岸壁調査
・四国地整　TEC-FORCE 予備隊員＝辞令交付式を開催
・ＦＬＯＷＲＡ　第２回国際フォーラム開催＝『ムーンショット』で技術連携
・洋上風力　青森県沖日本海南側協議会＝ＪＥＲＡらが事業概要示す
・関門航路事務所　海翔丸が緊急出動訓練＝八代港へ支援物資輸送
・志布志港　都内でポートセールス＝一層の利用促進・支援を
・北海道　洋上風力産業推進ＮＷ設立＝道内企業の参画を募集
・日鉄エンジ　アチハと洋上風力で協業＝Ｏ＆Ｍサービス体制強化
・男鹿・潟上・秋田市沖洋上風力　風車基礎は鹿島建設＝事業会社が契約

・ＮＥＤＯ　静岡市と協力協定締結＝実証環境確保、企業連携等
・東亜建設工業人事（11 月１日）

■令和７年 11 月 3 日号（第 1953 号）
・港湾関係５団体　「港湾の全国大会」開催＝経済と暮らしを支える港づくり
・自民党港湾議連　来年度予算へキックオフ＝補正予算の確保で集中議論
・金子国土交通大臣が会見
・秋の叙勲　小島組社長が旭双＝瑞中に福田氏、瑞小５名
・港湾局　シャーシ・コンテナ位置管理等システム＝導入ガイドライン策定へ
・北海道港湾協会ら　青山会長らが国交省に要望＝「北海道の港湾整備予算確保を」
・酒田港　基地港湾の着実な整備＝古湊３号の耐震化等要望
・金沢港　南地区の無量寺岸壁復旧＝被害大きい水深７・5m部が対象
・千葉港海岸　船橋地区日の出胸壁改良＝接続部と隅角部の続き工事
・千葉港　葛南中央地区等環境調査＝海老川水門の浚渫等準備
・青森港湾事務所　優良企業（現場代理人）表彰＝細川産業・油川岸壁護岸工
・東京都　調布飛行場の整備＝次回検討会で取りまとめ
・三池港海岸　離岸堤の建設工事発注＝堤防の改良工事も施工
・三島川之江港　来年度新規事業化を要望＝水深９ｍＲＯＲＯ耐震岸壁
・四国中央市　大西市長が金子地区要望＝物流機能、広域防災の役割
・下関港東京セミナー　前田市長がプレゼン＝「海よりも速く！空よりも安く！」
・下関港　２ブロック目の改良工＝撤去、据付、仕上げ一括で
・佐伯港　水深 10m岸壁予防保全＝ジャケット式本体工進む
・大阪港常吉臨海緑地　みなと緑地ＰＰＰ認定＝多目的グラウンド施設等
・業務入札結果（令和７年８月契約分）
・日港連　港湾局、航空局と意見交換＝施工体制確保へ長期見通しを
・第 115 回日港連セミナー＝現場の安全と担い手確保
・PIANC-JAPAN　アジアセミナー2025＝「環境再生と港湾開発」テーマ
・横浜港　サイバー攻撃想定訓練＝迅速な情報連絡体制構築へ
・ＪＢＥ　Ｊブルークレジット＝７年度第１回、４件を認証・発行
・自然エネ財団　洋上風力発電の動向 2025＝世界と日本における現状
・東洋建設　中村社長が現場パト＝鹿児島港臨港道路橋脚下部工
・港湾局　クルーズ等訪日旅客受入促進事業を決定

■令和７年 10 月 27 日号（第 1952 号）
・港湾知事協　物流機能強化で地域発展＝港湾海岸、国土強靭化施策
・港湾局　遠隔操作荷役機械の安全確保＝第２回検討委、モデル運用規程案示す

・港湾局　港湾運送の適正取引議論＝第２回Ｇライン検討委開催
・ＣＮＰ認証制度　博多港ＣＴがレベル５＋＝博多港ふ頭・福岡市の先進的取組
・閣議決定　緊急確保航路等区域変更＝港湾法施行令、衣浦港沖と中空沖
・四日市地商工会、県・市　港湾局長、次官に要望活動＝四日市港北ふ頭、海岸整備促進を
・丘珠空港　滑走路 1800m化取組＝第１回ＰＩ推進協議会、延長計画案提示し比較
・東京港　中防外のＹ３バース＝ふ頭背後・取付部の地盤改良
・苫小牧港　周文ふ頭の岸壁築造＝港湾施設用地造成で載荷盛土
・八戸港　八太郎・河原木土砂処分場＝裏埋工・余水吐の施工方策検討
・大島・泉津漁港　護岸建設と防波堤改良＝水深３ｍ岸壁築造も施工
・敦賀港　鞠山南水深９ｍ岸壁＝５、６函目のケーソン製作
・新潟技調　自動係留装置導入＝ガイドラインを初策定
・北陸地整　和倉温泉の周辺復旧工事＝新たな護岸設置開始
・境港　水深 12m国際物流Ｔ整備＝年度内着手目標に諸準備進む
・近畿地整　姫路港広畑地区国際物流Ｔ＝事業評価監視委員会で再評価
・大阪港　南港ＣＴ・Ｃ１／４がＣＮＰ認証＝交付式開催、レベル２＋
・徳島小松島港　赤石地区国際物流ターミナル＝Ｇアンカーでケーソン補強
・徳島小松島港　ブルーインフラ整備手法検討＝来年度、カルシア土活用試験
・北九州港　新門司沖土砂処分場３工区＝主熱土砂受入量拡大へ取組
・工事入札結果（令和７年８月契約分）
・埋浚協会　関東地整と意見交換会開催＝現場実態に即した発注を要望
・東京湾再生官民連携フォーラム総会＝新たに都市型里海Ｐ取組
・東亜建設・豊田通商　アンゴラ・ナミベ港が完工＝鉄鋼輸出ターミナルとＣＴ拡張
・埋浚協会　第 32 回海の現場見学会＝学生対象に清水港の現場で実施
・みやざき港湾セミナー＝宮崎、細島、油港をＰＲ
・伏木富山港湾事務所　魚津港で支援物資輸送訓練＝命のみなとネットワーク
・北陸地整ら　南トラ代替輸送訓練＝名古屋市開催、参加者募集
・国交省　公共工事全国一斉点検＝10 月から 12 月まで実施

■令和 7 年 10 月 20 日号（第 1951 号）
・港湾協会　地整局と意見交換会開催＝現場実態に合った適切発注を
・関東地整　川崎港ＣＴがＣＮＰ初認証＝認証書交付式、更なる脱炭素化に期待
・名古屋港　鍋田ＣＴがＣＮＰ認証＝一致団結で脱炭素を推進
・四国地整　高松港ＣＴがＣＮＰ認証＝レベル１、脱炭素化推進中
・洋上風力区域整理　旭市沖などが準備区域に＝３区域でＪＯＧＭＥＣ調査へ
・名古屋港　ポートアイランドの利活用＝前田氏護岸の概略検討業務を公告
・千葉港　千葉中央地区水深９ｍ岸壁＝上部工などの施行で改良完了

・三河港湾事務所・蒲郡市　倉舞港で海上輸送訓練＝県、地元住民参加で連携強化
・輪島港　マリンタウン岸壁の復旧＝西護岸も復旧改良工事へ
・秋田港　外港地区防波堤（南）実施設計＝第２南では断面見直し
・東京都　利嶋港防波堤（北）＝上部工と基礎工等
・御前崎港　女岩地区水深 12m岸壁＝先端の波除堤撤去続き工事
・東北地整　「みなとの社会科見学」＝港湾工事を動画で紹介
・特集　主要港のプロジェクト動向＝⑥沖縄総合事務局開発建設部
・東広島市総合防災訓練　広島港空が緊急物資輸送＝「まつかぜ」が安芸津沖に出動
・近畿地整　神戸港で工事安全パト＝高専生、若手技術者が体験
・福岡県海洋開発協会　みらうみプロジェクト＝高校生が捨石均し見学
・青森港洋上風力発電基地港湾　着工式典開催＝開港４００年、更なる発展に期待
・国交省港湾局・海事局　繋離船作業の安全対策＝検討会で協会と意見交換
・北陸地整　若手技術者発表会を開催＝官民７人が課題等報告
・関東地整　京浜港の物流高度化推進＝第 17 回荷主意見交換会を開催
・港湾関係９団体が主催　ＪＩＣＡ研修員を歓迎＝10 か国 11 名が参加
・中部・北陸　テックフォース予備隊員＝新規人員の登録完了
・中部地整　災害時事業継続力認定＝７年度後期の受付開始
・東亜建設が紺綬褒章受章＝能登半島地震の被災地支援

■令和７年 10 月 13 日号（第 1950 号）
・国交省港湾局　水素等の受入環境整備＝年度末にガイドライン最終取りまとめへ
・港湾局　新技術カタログ第２弾＝藻場造成、嵩上げ技術追加
・日本全国みなと便り（64）新潟港湾・空港整備事務所　古池清一所長
・第 16 回みなとオアシスＳｅａ級グルメ全国大会＝開港４００年の青森港で開催
・港湾局　基本方針を変更告示＝港湾法改正等を反映
・港湾統計速報（７年７月）
・東京港　内貿ユニットロードふ頭＝Ｘ６・Ｘ７の２バースで地質調査
・根室港屋根付き岸壁が完成＝供用式典開催、水産物輸出促進に大きな期待
・東京港　中央防波堤外側外貿ＣＴ＝護岸改良と地盤改良続き工事
・北陸地整　災害時の北陸港湾代替輸送＝物流戦略で専門部会を開催
・北陸地整・埋浚協会　復旧工事見学会開催＝大学生ら約 40 人が参加
・両津港　クルーズ船の二次交通＝シャトルバス等実証運航
・北開局・東北地整　青函連携物資輸送訓練＝港湾・河川国道が連携
・特集　主要港のプロジェクト動向　⑤九州地方整備局管内㊦
・水島港バルクバース　水深 14m岸壁改良細部設計＝背後への３本増杭で耐震補強
・神戸港臨港道路　地盤調査解析業務手続き＝３Ｐ対象に深層部土質調査

・近畿地整・阪神国際港湾　ＣＯＮＰＡＳ試験運用＝ＫＩＣＴで来年１月
・埋浚協会　堺泉北港で安全パトロール＝水深 12m岸壁の築造を視察
・ＳＣＯＰＥ　第９回洋上風力セミナー＝ＷＥＢ配信、馬場課長ら４名が講演
・ＷＦ協会・全国協議会ら　みなとオアシスの集い＝青森開催、総会・研究会・交流会
・東京湾大感謝祭 2025　横浜市アトリウムで開催＝東京湾再生へ活動の輪拡大
・埋浚協会　７年度港湾技術報告会＝「宇宙からみる地球環境」
・海事局　10 年後に造船建造２倍に＝新垣局長９月記者懇談会
・東洋建設　東大と連携講座開設＝「次世代海洋建設技術の創出」
・みなと総研　海の再生・ブルーインフラ賞＝第３回募集開始
・東洋建設役員異動＝吉田氏ら取締役退任へ

■令和 7 年 10 月 6 日号（第 1949 号）
・国交省港湾局　港湾運送事業の適正取引＝ガイドライン策定に向け議論開始
・港湾局　サイバーポート港湾物流＝WG開催、更なる普及に期待
・港湾局　ＣＮＰ認証（コンテナＴ）＝博多港など５港を初認証
・日本全国みなと便り（63）特定離島港湾事務所　土佐一也所長
・航空局　航空インフラ国際展開＝協議会総会を開催
・苫小牧港　周文ふ頭の水深９ｍ岸壁＝土砂運搬盛土工事と上部工設計
・横浜港　本牧地区岸壁利用条件確認＝ＨＤ５の地震時応答解析等
・東京港　品川内貿ふ頭水深 8.5m岸壁＝５億円規模の改良整備工事
・横浜港　ＣＯＮＰＡＳ試験運用＝本牧ふ頭ＢＣ、Ｄ１、Ｄ４
・東京都　小笠原諸島母島の沖港＝水深５ｍ泊地浚渫工事
・七尾港　矢田新地区岸壁・桟橋復旧＝臨港道路線も改良へ
・羽田空港　Ｆ誘導路で舗装工施工＝Ｎ５誘導路とエプロン拡幅
・小名浜港　本港地区防波堤（沖）＝維持理計画作成
・飯田港　水深５・５ｍ岸壁新設＝物揚場法線を前出し
・特集　主要港のプロジェクト動向④　九州地方整備局管内㊦
・神戸港臨港道路　橋脚基礎関連で実施設計＝盤ぶくれ対策や施工時の仮設工
・岩国臨港道路　室の木４号橋２Ｐ下部工＝海上部では最後の橋脚工事
・阪神国際港湾　日本諸港の利用促進＝今治港を新たに追加
・ＳＣＯＰＥ　７年度近畿港湾視察会開催＝神戸港～大阪港を海上から視察
・港荷協・ＩＣＨＣＡ　第７回国際荷役セミナー＝豪のコンテナターミナルの動き
・経産省　過酷環境下で浮体式実証＝最速で今年度から実施へ
・ＣＣＳ　九十九里沖が特定区域に＝苫小牧はＪＡＰＥＸが試掘
・千葉県　銚子地域未来創造会議＝漁業共生、地域振興議論へ
・第 26 回新潟技調講演会＝能登半島地震テーマ

・東洋建設　モンバサ港開発２期＝ジャパコン国際賞受賞
・土木学会　令和７年度土木遺産＝波節岩灯標など 19 件を認定
・港湾局　みなとＳＤＧｓパートナー　新規７者、継続 65 者登録
・航空局　空港脱炭素推進を補助＝空港車両のＥＶ・ＦＣ化等
・東洋建設人事（９月 20 日、10 月１日）

■令和７年９月 22 日号（第 1948 号）
・港湾・海岸・空港　国土強靭化計画＝耐震性能強化、「協働防護」等推進
・みなとオアシス伊良湖登録証交付式
・日本全国みなと便り(62)　金沢港湾・空港整備事務所　渡邉　理之所長
・海事局　ゼロエミ船建造促進＝10 月 28 日まで公募受付
・東京都　新砂水門の耐震再整備事業＝門扉製作据付と本体施工
・十勝港　内港区航路浚渫工事＝水深 14m・水深 13m航路
・金沢港　南地区御供田１号岸壁＝ＷＴＯ対象の復旧改良工事
・穴水港　川島地区水深４ｍ物揚場＝災害復旧で製作工事を開始
・東京都港湾局　夢の島マリーナ＝既設桟橋の改修工事
・小名浜港　第３回長期構想検討委＝将来像と空間利用
・伏木富山港湾事務所　みなと見学会＝射水市の小学生
・業務入札結果（令和７年７月契約分）
・特集　主要港のプロジェクト動向＝③四国地方整備局管内
・鹿児島港　海上橋梁の中央径間桁架設＝Ｐ10・11 基礎工事も契約へ
・神戸港　ポーアイ２期コンテナ埠頭＝ＰＣ18 第９レーン耐震化
・東洋建設　実海域でケーブル埋設実証＝ウォータージェット式、洋上風力効率施工へ
・銚子沖洋上風力　三菱商事が撤退理由説明＝第６回協議会、漁業共生、地域振興は継続
・若築建設　袖ヶ浦技研設立 10 周年＝記念式典開催、土田教授ら講演
・釧路市　釧路港で貨物積替実証＝ＲＯＲＯ船活用、参加者募集
・ＮＸ商事ら　東京港でバイオ燃料供給＝都脱炭素促進事業に採択
・日建連　７年度海上安全研修会＝海保庁講師招き事故防止策
・東京湾大感謝祭（9 月 27・28 日）＝横浜市役所アトリウム
・八戸港・空事務所＝港湾空港関係功労者表彰

■令和７年９月 15 日号（第 1947 号）
・国交省港湾局　重要港湾管理者等主幹課長会議開催＝安部局長「港の将来像を地域で共有」
・小樽市　みなと緑地ＰＰＰ活用＝第３号埠頭基部、事業者を募集
・内閣官房　国土強靭化概算要求＝６・６億円（前年比 25％増）

・日本全国みなと便り（61）関門航路事務所　栗畑　竜志所長
・港湾統計速報（７年６月分）
・港湾局人事（９月１日）
・国土交通省　被災港湾での予備費使用＝北陸各校の事業費増大への対応
・小木港　被災岸壁で初の復旧完了＝９月５日から一部利用を開始
・横浜港　新本牧地区の護岸（防波）＝初弾裏込工と最終築造工
・青森港湾事務所　命のみなと災害支援協定＝鰺ヶ沢町、深浦町と締結
・石狩湾新港　東地区水深 14m岸壁築造＝背後埋立の最適工法など検討
・能代港　大森地区等で深浅測量＝外港地区含め全体的調査へ
・工事入札結果（令和７年７月契約分）
・特集　主要港のプロジェクト動向＝②中国地方整備局管内
・佐世保市　三浦地区みなとまちづくり＝ホテル公募、ターミナル設計
・志布志港　新若浜防波堤（沖）工事＝堤頭函の築造手続き開始へ
・関門航路　響灘東地区土砂処分場＝土地利用に向け整地工
・ＪＯＰＣＡ・ＯＣＤＩ　「港湾を巡る世界の動き」＝松原前トリニダード・トバゴ大使が基調講演
・東亜建設工業　バングラの消防本部庁舎＝同国初の免震構造建築受注
・2024 年コンテナ取扱貨物量（速報値）＝2198 万ＴＥＵ、昨年度から微増
・沿岸センター　カムインズをバージョンアップ＝８年ぶりに第五世代導入
・東京都　羽田空港で水素活用実証＝全国初、航空機牽引車にＦＣ
・苫小牧港管組　海陸一貫輸送実証実験＝船舶・鉄道連携で道内輸送
・港空研・京都大学　海岸線変動予測で画期的成果＝短期データの優位性を実証
・名古屋技調　第 28 回民間技術交流会＝聴講者募集中
・東亜建設工業人事（10 月 1 日）
・東洋建設人事（10 月 1 日）

■令和 7 年 9 月 8 日号（第 1946 号）
・自民党港湾議連　８年度港湾関係予算要求＝港湾の重要性、予算確保で一致
・航空局　空港整備に 1717 億円＝羽田空港のアクセス強化等
・海事局　８年度予算概算要求＝前年比 20％増の 96 億円
・高橋副大臣　欧州港湾を視察＝船社等にトップセールス
・日本全国みなと便り（59）稚内港湾事務所　東舘雅樹所長
・名古屋港　長期構想中間案まとめ＝南部・ＰＩ地区に次エネ拠点等
・茨城空港　取付誘導路建設で土質調査＝複線事業化業務を開始
・茨城港　常陸那珂港区中央ふ頭＝水深 14m岸壁の裏込工事

・輪島港　マリンタウンの親水性護岸＝平面化施工で遊びの場を創出
・秋田港　自動運転トラック実装へ＝ヒアリング調査実施
・釧路港　西港区島防波堤背後盛土＝航路浚渫土で藻場造成へ
・敦賀港で過去最高記録＝６年貨物量の速報値
・【特集】主要港のプロジェクト動向＝①近畿地方整備局管内
・沖縄防衛局　那覇港湾施設代替施設＝環境影響評価方法書縦覧、作業ヤード埋立を追加
・大阪港　市港湾審が軽易変更了承＝万博跡地の土地利用計画変更
・北九州市　響灘西地区を浮体式拠点に＝山縣懇話会座長が市長に提言書
・洋上風力　事業者選定後の政策適用＝第 35 回合同会議、可否判断の考え方示す
・圧入締固研究機構が総会開催＝ＣＰＧ工法の普及拡大へ取組
・特定利用空港・港湾＝新たに３空港１港湾追加
・海事局　予算説明と積載率動向＝新垣局長、８月記者懇談会
・国総研　８年度概算要求 2.6 億円＝地震直後の空港舗装点検等
・港湾局　みなとオアシス伊良湖＝169 箇所目登録へ
・東洋建設美浦研究所　小学生が体験学習＝ＶＲ体験等
・あおみ建設人事（10 月１日）

■令和７年９月１日号（第 1945 号）
・令和８年度港湾局概算要求　3157 億円（対前年度比 1.19 倍）要求＝防災・減災、国土強靱化等推進
・税制改正　作業船買換え等特例措置＝３年間延長を要求
・港湾局　登録更新の通知書伝達式＝沿岸Ｃ、寒地Ｃ両機関に授与
・九州地整　有明海の漂流物回収へ＝漁業者、埋浚と連携作業
・CyberPort　７年度第２回ＷＥＢセミナー（９月９日開催）
・日本全国みなと便り（58）高松港湾・空港整備事務所　加藤訓生所長
・茨城県　茨城港長期構想を策定＝老朽化やクルーズ岸壁改良
・名古屋港　８年度の整備拡充を要望＝Ｒ２岸壁改良や南海トラフ対策
・四日市港　霞ヶ浦W81 水深 14m岸壁＝土留ケーソン据付工事など
・北陸地整　和倉港護岸改良工事＝直轄による代行開始
・敦賀港　鞠山南地区水深９ｍ岸壁＝地盤改良の初弾工事手続き
・川崎港東扇島　堀込部の土地造成事業＝護岸築造でケーソン製作
・川崎港　白石町護岸など改良＝東扇島の小型船溜護岸
・広島空港　ＲＥＳＡ用地造成工事促進＝盛土空港としての耐震調査
・徳山下松港　パシコンで覆土工法等検討＝新南陽Ｎ７の直轄土砂処分場
・高松空港　耐震性判断へ土質調査＝４本のボーリング実施
・指宿港海岸　直轄海岸保全施設整備事業＝九州地整第１回事業評価監視委、９年度完了へ

工事進捗
・那覇港　脱炭素化推進計画策定＝新港ふ頭で次エネ受入など
・業務入札結果（令和７年６月）
・新潟港　みなと緑地ＰＰＰ第３号＝㈱ピーエイ、万代テラスにＢＢＱ施設等
・五洋建設・積水化学工業　コンクリート被覆シート開発＝劣化防止、ＣＯ２吸収効果
・福島県　洋上風力有望海域を調査＝浮体基礎製造拠点港検討も
・環境省　水素ＳＣのモデル構築＝ＦＳ・実証事業計４件を採択
・四日市コンビナートＣＮ　企業・県・市が連携協定締結＝水素・アンモニアの拠点化等
・関東地整　ＣＯＮＰＡＳ予約制＝中防外Ｙ１など実施拡大
・横浜港ＣＮＰ　脱炭素化を金融面で後押し＝上野Ｇが横浜銀行とグリーンローン契約
・都港湾局　藻場創出パートナー募集＝東京港内にアマモ移植等
・阪神国際港湾　日本諸港利用促進事業＝三池港を新たに追加
・東洋建設　東大・藤原教授が講演＝トークサロン、持続可能な窒素管理

■令和７年８月 25 日号（第 1944 号）
・港湾局　ブルーカーボン役割検討会＝新たなクレジット制度創設検討
・第２次洋上風力産業ビジョン＝２０４０年までに浮体式 15ＧＷ
・日本全国みなと便り（57）沖縄総合事務局　平良港湾事務所　與儀　成也所長
・東洋建設　大成建設の子会社に＝洋上風力等シナジー期待
・【訃報】魚住聡さんが逝去＝寒地センター理事長
・金沢港　大野地区土砂運搬続き工事＝金石大野Ⅱ期エリアに仮置き
・関東地整　沖ノ鳥島港湾整備を継続＝７年度第１回事業評価委
・四日市港海岸　直轄海岸保全施設整備＝施設構造断面などを検討
・川崎港浮島２期　第２ブロック内の土留護岸＝既存護岸で桟橋築造を推進
・川崎港水江町　護岸老朽化で吸出し防止＝水江町緑地では護岸改修も視野
・川崎港　小型船溜の防波堤新造＝上部工打設で築造が完了
・川崎港コンテナＴ　水深 14m岸壁泊地浚渫＝土砂は浮島２期処分場に
・和歌山下津港海岸　直轄海岸保全施設整備事業＝10 年度完了目標に向け 80％進捗
・下関港海岸　新川水門護岸築造等工事＝宮崎水門は実施設計等予定
・中国地整　業務若手技術者表彰を創設＝７年度は 12 名が受賞
・中国地整　国土交通功労者表彰＝沿岸センターが受賞
・工事入札結果（令和７年６月契約分）
・埋浚協会　金沢港で「うみの現場見学会」＝大型ポンプ浚渫船「駿河」、大野地区航路浚渫工事
・ＷＦ協会　みなとまちづくりマイスター＝７年度は新たに４名認定
・港湾都市協議会　碧南市で第 69 回総会開催＝衣浦港の更なる発展に期待

・東亜建設工業　重機の遠隔操作・自動運転＝砂撒船バックホウで検証試験
・五洋建設　香港空港無人車両道路等＝4156 億円、工期４年で受注
・東洋建設　ＧＸ事業本部立上げへ＝洋上風力事業本部を改編
・都港湾局　臨海副都心の脱炭素取組＝水素混焼ボイラー、太陽光

■令和 7 年 8 月 11 日号（第 1943 号）
・2025 年夏季特集　国土交通省　森橋真大臣官房技術参事官「港湾を巡る最近の諸情勢と重点施策」
・命のみなと　高知県・奈半利港で初訓練＝南海トラフ大津波想定、港湾法に基づく手続き等確認
・航空局　盛土空港の地震対策検討＝検討委員会で年度内にまとめ
・港湾局・海事局　クルーズ等訪日旅客受入＝７年度第２回公募開始
・港湾局　国際クルーズ受入高度化＝旅客上屋改修等を補助
・港湾統計速報＝令和７年５月分
・羽田空港　アクセス鉄道引上線整備＝トンネル断面の修正設計
・茨城港　常陸那珂港区の中央ふ頭＝水深 14m岸壁の劣化状況調査
・三河港と衣浦港の防波堤＝老朽化対策で設計など検討
・衣浦港　中央ふ頭西地区岸壁改良＝最終段階に向けて施工検討
・秋田港　本港地区の中島岸壁＝既設前出し改良完了へ
・サロマ湖漁港　第２湖口地区の防砂堤＝東西とも鋼管矢板式に改良
・新潟技調　北陸海と港の技術情報交流会＝10/30 開催、発表技術募集
・東北地整　工事成績優秀企業
・別府港　石垣地区ふ頭再編改良事業＝水深 7.5m岸壁延伸着手
・下関港　外航ＲＯＲＯ岸壁築造王子＝２スパン目の老朽化対策へ
・大分港　大在西ＲＯＲＯバース＝静穏度の向上へ防波堤延伸
・下関港　賑わい空間形成検討＝対岸エリアも含め地域活性化
・高松港空事務所　備讃瀬戸航路附帯施設＝土質調査、環境調査実施へ
・近畿地整　工事成績優秀企業（ゴールドカード）
・港湾保安機構　第 22 回通常総会を開催＝人材育成、保安支援事業促進
・ガイアート　生物育成ブロック「モバブルー」＝クルーズ観光に向けた実証実験も開始
・ベスタス　経産省と官民協力枠組み＝日本製鉄とＭＯＵ締結
・洋上風力　松前沖・檜山沖促進区域指定＝北海道初の公募へ手続き整う
・沿岸センター　海洋・港湾構造物維持管理士＝資格試験の申込受付開始
・横浜港　ＣＯＮＰＡＳ原則予約＝８月 13 日・14 日に試験運用
・商船三井・三井物産　英・洋上風力基地港を買収＝鋼材加工製造等ＳＣ強化
・東洋建設　こども特別見学会を開催＝東京港クルーズ、学習イベント

・東洋建設人事（９月１日）
・日鉄エンジら　エンジニアリング功労賞＝石狩湾新港洋上風力建設
・東洋建設　鳴尾でトークサロン開催＝海岸工学テーマに講演
・北開局　アイコン奨励賞＝工事２件、業務１件

■令和７年８月４日号（第 1942 号）
・港湾局　港湾法改正、高度港湾工事初適用＝和倉港の護岸改良を国が代行
・北陸地整　ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ予備隊員＝被災地支援体制強化へ募集
・日本全国みなと便り（55）清水港湾事務所　田中大司所長
・新垣海事局長　海事クラスター強靭化へ＝就任後初の記者懇談会
・ＣｙｂｅｒＰｏｒｔ　トレードワルツ連携＝機能改善、実運用開始
・金沢港　大浜埠頭の水深 13m岸壁＝耐震化に向けて土質調査
・新潟港　西港地区の土砂処分場＝護岸（西）の細部設計検討へ
・千葉港湾事務所　千葉県富津市沖の浅場造成＝投入土砂の品質確認業務
・八戸セミナー2025　都内で開催＝熊谷市長がポートセールス
・横浜川崎国際港湾　ジャカルタでセミナー開催＝東南アジア輸送ルート構築へ
・横須賀港　新港地区の水深 12m岸壁＝新規ふ頭計画で構造検討
・北陸地整　工事成績優秀企業＝５・６年度完成工事
・水島港　水深 14m岸壁バルクバース＝広島技調を通じて基本設計へ
・和歌山下津港海岸　船尾南第３工区の最終区間＝南護岸１－４工区にも着手
・姫路港　水深 14m国際物流Ｔ整備＝カルシアによる裏埋施工検討
・北九州空港　護岸改良築造工事の手続き＝北、東護岸対象に越波対策
・徳島小松島港　生物共生型みなとづくり＝実証試験に向け検討深める
・尼西芦港　尼崎２号岸壁の細部設計＝水深 10m岸壁の予防保全
・長崎港　松が枝のクルーズ第２Ｂ＝綱取り用突堤部の細部設計
・四日市港　被災後の利用可否判定訓練＝中部地方整備局、国総研、港空研、遠隔地専門家と画像共有
・防食・補修工法研　７年度定時総会を開催＝洋上風力の防食・被覆等の取組
・秋田港湾事務所　男鹿市と災害支援協定＝命のみなとネットワーク
・ＪＯＧＭＥＣ　先進的ＣＣＳ成果報告会＝国内４件、海外５件の進捗状況
・東京都港湾局ら　水素混焼で地域熱供給＝全国初、臨海副都心の脱炭素
・東京港　ＣＯＮＰＡＳ予約制＝大井で 8/20 から常時運用へ
・東洋建設　ＳＢＴ認定を取得＝グループ一丸でＣＮ実現
・東亜建設工業　ＣＤＰ・ＳＥＡで最高評価＝ＳＣ全体でＧＨＧ排出削減
・エネ庁　洋上風力案件形成促進＝区域未指定等地域を支援

■令和７年７月 28 日号（第 1941 号）

・参院選　しげもと氏目標届かず＝関係者の支援に深く謝辞

・日・シンガポール　第２回年次会合開催＝グリーン・デジタル取組共有

・日本全国みなと便り（54）留萌港湾事務所　八柳敦所長

・国交省　海事関係功労者大臣表彰＝港湾関係は 26 名が受賞

・港湾局　サイバーポート新機能＝宇徳と連携、ＣＦＳと倉庫問合せ等

・三河港　神野地区水深 10ｍ４号岸壁＝来年度発注に向け改良施工検討

・名古屋港　庄内川泊地浚渫（その２）＝測量結果を基に来年施工

・敦賀港　鞠山南地区水深９ｍ岸壁＝ケーソン製作、仮置場整備

・伏木富山港　新湊地区の作業基地護岸＝改良整備で施工方策を検討

・新潟空港　護岸改良工事が完了へ＝地盤改良後の土質調査発注

・東京湾口航路　中央航路中ノ瀬西方地域＝浚渫工の施工検討業務開始

・歯舞漁港　東防波堤を岸壁に改良＝護岸と船揚げ場の改良も実施

・宮古港　藤原地区の防波堤改良＝被覆ブロックの製作工事

・羅臼漁港　オジロ橋の補修工発注＝第３港区船揚場と用地も

・神戸港　航路附帯施設築造工事＝第９工区の手続き開始へ

・八尾空港　Ｂ滑走路の誘導路舗装改良＝滑走路本体の改良も検討中

・須崎港整備促進協　安部港湾局長に要望書手交＝水深 13ｍ岸壁の早期実現等

・北九州港　新門司南地区Ｆターミナル＝プロポ方式で施工計画検討

・四国地整　林産品輸移出推進方策検討＝需要推計や港湾機能等整理

・九州地整　細島港モデルに防災検討＝南海トラフ巨大地震対策

・海の日記念行事 2025　秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご臨席＝海の恵みに感謝、豊かな海を次世代へ

・海の日　海洋立国推進功労者表彰＝５名１団体が受賞

・令和７年「海の日」海事功労者＝地方整備局長表彰

・海事局　日本人クルーズ人口 100 万に＝新たな目標設定、官民取組推進

・国交省・経産省　内航船運航効率化実証＝新たに３件を採択

・ＪＦＥ商事ら　洋上風力用洗掘防止材＝男鹿市で新会社設立

・東洋エンジ・日鉄エンジら　洋上風力発電の維持管理＝ＡＳＶ・ＲＯＶ実証事業

・中国地整　国土交通功労者表彰＝東亜、エコーらが受賞

・中国地整　工事成績ランキング＝令和５・６年度完成工事

・優良業務・優秀技術者＝国総研が表彰

■令和７年７月 21 日号（第 1940 号）

・安部港湾局長　就任会見で抱負を語る＝港湾政策で日本・地域を元気に

・日本全国みなと便り（53）広島港湾・空港整備事務所　赤城尚宏所長

・全建賞　港湾関係は９事業が受賞＝小樽港クルーズ岸壁など
・東京港　Ｆブロックでの深掘工事＝新海面処分場、単年度で３件を発注予定
・東京港新海面　Ｄブロック東側と南側護岸＝18 億円規模遮水・裏埋工事
・東京港新海面　浚渫土砂仮置・送泥（埋立）＝五洋建設が 6.6 億円で落札
・横浜港　新本牧地区国際コンテナＴ＝中仕切堤築造工事を公告
・東京港　中央防波堤外側外貿ふ頭＝水深 16m護岸改良工事
・名古屋港　新土砂処分場への土砂排送＝ポンドとドルフィンを検討
・名古屋港　中航路の浚渫土排送工事＝水深 14mで混雑解消図る
・田子の浦港　港口部ポケットの整備＝土取りで水深 12m航路保全
・酒田港　疑似重力式の基地港湾岸壁＝維持管理検討でプロポーザル
・秋田港　南防波堤と第二南防波堤＝改良・整備で製作工事発注
・新潟港　洋上風力基地港湾整備＝泊地浚渫と地盤改良（その３）
・小名浜港　東港地区の臨港道路＝維持管理マニュアルの改訂へ
・落石漁港　水深 5.5m岸壁と防波堤＝初弾の築造工事を発注予定
・根室港　花咲地区の南護岸改良工＝初弾工事と落石漁港製作工
・庄野漁港　令和 12 年度までの整備事業＝護岸築造と航路浚渫
・青苗漁港　南防波堤の改良工事発注＝混成堤を水中コンで拡幅
・酒田港コンテナ貨物利用促進事業＝助成メニュー拡大
・直轄工事・業務入札結果（令和７年５月契約分）
・徳山下松港　新 14m岸壁と土砂処分場＝予備設計の手続きを開始へ
・西之表港　南西諸島の国土強靭化方策＝西之表港等で課題抽出し検討
・大阪港　夢洲中地先で土質調査＝新たな係留施設の検討へ
・大阪港　主航路浚渫、航行安全検討＝次年度以降の海上工事対応
・クルーズ活性化会議　第 14 回総会、下関市で開催＝国交省港湾局に要望書手交
・三島川之江港　水深９ｍ複合一貫輸送Ｔ＝整備効果検討業務手続き
・高知港海岸　種崎側津波防波堤築造＝ケーソン２函据付等工事
・大阪港・空事務所ら　関空泉州港防災訓練実施＝業務艇で交代要員緊急輸送
・愛媛県　松山空港の自衛隊利用＝「特定利用空港」対象候補に
・阪神港　日本諸港利用促進事業＝新たに４港を追加
・東亜建設工業　落水者救護システム開発＝リアルタイム検知し追跡
・東大・港空研　マングローブ湿地帯の研究＝数百年を経て海洋へ炭素輸送
・福島県　洋上風力のポテンシャル＝調査結果公表、浮体式 62ＧＷ
・東洋建設　自航式ケーブル敷設船＝ルーマニアで進水式
・五洋建設　トゥアス湾北部埋立工事＝335 億円で受注
・海洋・港湾設計士会　７年度定期総会を開催＝新会長に柴田ＪＰＣ部長
・小樽港　クルーズ船岸壁等整＝６年度全建賞を受賞

・中国地整　６年コンテナ貨物量＝前年比 2.8％減

■令和７年７月 14 日号（第 1939 号）

・参院選公示　しげもと まもる 出陣式＝支援団体ら１千名終結、必勝に向け力強く決意表明

・港湾分科会　基本方針の変更審議等＝港湾法改正等受け部分修正

・日本全国みなと便り（52）伏木富山港湾事務所　樋口豊志所長

・港湾局　みなとオアシス日和佐＝「ウミガメと信仰のまち」

・港湾局　みなとＳＤＧｓパートナー＝新たに９者登録、３５８者に

・航空局　羽田空港の共同溝強靭化＝対策に向けた検討委立上げ

・中防外Ｙ３コンテナターミナル＝ジャケット据付開始

・横須賀港　浦郷地区の護岸復旧工＝被災部と船揚場で施工

・清水港　新興津地区水深 15m岸壁＝既存護岸前面の撤去工事

・久慈港　湾口地区防波堤の築造＝ケーソン据付等進む

・飯田港　飯田地区の災害復旧工＝水深 5.5m岸壁と西防波堤

・伏木富山港　伏木地区の北防波堤改良＝関連工事３件を発注予定

・苫小牧港　周文ふ頭の水深９ｍ岸壁＝ＰＤＦ工法で地盤改良

・網走港　新港地区南防波堤改良＝基礎と上部嵩上げ

・小松空港　誘導路の改良工を再開＝エプロン改良も今後視野に

・三沢空港　第１駐車場の改良工事＝利便性向上とバリアフリー

・神戸港臨港道路　主塔（２Ｐ、３Ｐ）基礎工＝５箇年債務、随契で後工事

・大分港海岸　住吉地区で２、３工区設計＝２工区合計で延長 578m

・長崎港　ケーソン２函等製作工事＝松が枝地区水深 12m岸壁

・和歌山下津港海岸　藤白護岸（第１工区）築造＝最終工程の手続き開始

・鹿児島県　名瀬港脱炭素化推進協＝推進計画素案作成へ作業開始

・宇野港湾事務所　港湾空港建設業を考える＝地元企業と意見交換会開催

・国交省港湾局　作業船への次世代燃料導入＝７月公告から試行工事開始

・大阪港湾局　都内で大阪みなとセミナー＝95 団体から約 170 名参加

・港空研　洋上風力の技術課題と考察＝国際圧入学会とセミナー共催

・横浜市　山下ふ頭再開発の方向性＝意見募集、７年度中に計画案作成

・ＪＢＥ　Ｊブルークレジット＝購入申込公募開始

・「近畿みなとの達人」総会＝防災支援、技術の伝承事業等

・港湾局　確認業務料金に人件費反映＝沿岸Ｃ、寒地Ｃ申請を認可

・港湾分科会　特定港湾施設整備基計＝72 港、796 億円を了承

・北海道局　７年度特特推進費配分＝十勝港航路浚渫など

・海事局　「事業基盤強化計画」＝ボルカノの計画認定

・五洋建設人事（７月７日）

■令和７年７月７日号（第1938号）
・港湾局人事（７月１日付）　官房技術参事官に森橋氏＝杉中中国局長、中原中部副局長、酒井九州副局長
・港湾局　作業船の自動・自律化施工＝ＷＧ設置、社会実装へ検討開始
・日本全国みなと便り（51）西之表港湾事務所　辻本陽琢所長
・四日市港　霞ヶ浦W81水深14m岸壁＝先行供用120m上部工
・村上・岩船地域「命のみなと」＝協議会が支援物資輸送訓練
・千葉港　千葉中央水深９ｍ岸壁＝改良完了と防波堤の初弾
・鹿島港　中央防波堤と南防波堤＝被覆・消波ブロックの製作工
・直江津港　港区地地区沖防波堤を強化＝改良基礎工事の初弾工事
・両津港　湊地区水深7.5m岸壁改良＝地盤改良工の続き工事
・仙台塩釜港石巻港区　雲雀野地区三阿見防波堤＝来年度ケーソン据付完了へ
・相馬港　本港地区の沖防波堤改良＝消波ブロック製作を発注
・志布志港　新若浜水深９ｍ岸壁設計＝ユニットロードターミナル整備
・境港　水深12m国際物流Ｔ整備準備＝船舶航行安全対策や埋立手続
・岩国港臨港道路　室の木高架橋岸壁改良設＝ふ頭利用を活かして橋脚２本
・高松空港ＲＥＳＡ　用地造成工の手続き開始＝八谷池埋立の初弾工事
・福岡市　博多港物流トライアル＝新規物流に最大百万円
・業務入札結果（令和７年４月契約分）
・港荷協　第70回定時総会を開催＝新会長に菊地氏が就任
・港湾空港技術振興会　７年度定時総会を開催＝特別講演で３Ｄプリンティング
・洋上風力　松前沖・檜山沖、促進区域案＝北海道一般海域で初指定へ
・洋上風力　伊豆諸島５海域が準備区域＝都がギガワット級導入計画
・中部国際空港　籠橋新会長が就任会見＝「地域が誇れる空港に」
・東洋建設　自航式ケーブル敷設船＝在ルーマニア大使らが現地視察
・川崎港　ＯＮＥ日韓航路が初入港＝７年ぶりの新規航路
・日鉄エンジ　タイＣＰＰ新設工事受注＝石油と随伴ガスの生産井
・港湾局　ＣＮＰ認証受付開始＝ターミナルの脱炭素取組評価
・海事局長　ＥＥＺ洋上風力に期待＝６月の記者懇談会
・五洋建設人事（７月１日）
・東洋建設人事・機構改革（６月25日、９月１日）
・あおみ建設人事（６月25日）